



Italian Living Innovation

デロンギ

電気式コードレスケトル

型番 **JK707J**

**家庭用**

## 取扱説明書



MADE IN CHINA

### JK707Jの特長

- **必要なときに必要な分量だけを沸かす**  
保温タイプの電気ポットとは違い、その都度、必要な分量だけを沸かすので、経済的です。
- **コンパクトな1ℓ容量ケトル**  
コンパクトながら1200Wの強力パワー。満水（1ℓ）の状態でも約5分で沸かすことができます。
- **持ち運び自由、テーブルに直置きが可能**  
ケトル本体には電源コードがないので、沸き上がり後の持ち運びも自由です。また、底面が熱くならないので、テーブルなどに直に置くことができます。
- **自動電源OFF機能付き**  
沸き上がり時には、自動的に電源がOFFになります。
- **空だき防止機能付き**  
使用中、ケトル内が空または水が少ない状態になると、自動的に電源がOFFになります。
- **ヒーティング・エレメントが、むき出しになっていない**  
コンシールド・ソールの採用で、内部のお手入れがしやすく、清潔さを保てます。

この度は、デロンギ電気式コードレスケトル JK707Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。

### もくじ

安全上のご注意.....	1~4
各部の名称とはたらき.....	5
仕様.....	5
使用手順.....	6~7
お手入れのしかた.....	8
アフターサービスについて.....	10

# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制」をうながす絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意

この絵表示は、「注意」をうながす内容です。



：禁止行為



：分解禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止



：水ぬれ禁止



：ぬれ手禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：強制



：プラグをコンセントから抜く

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 電源／コンセントについて



・電源は交流100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む  
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



・コンセントは本製品だけ（単独）で使用する  
コンセントの差込み口が2つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。



・延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない  
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



・取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない  
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



電源プラグ／電源コードについて

- 

・電源プラグは、根元までしっかりと差し込む  
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。
- 

・電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く  
使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店または弊社サービスセンター（10 ページ参照）にご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。
- 
- 
- 

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電することがあります。
- 

・変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない  
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（10 ページ参照）に、交換を依頼してください。
- 
- 

・電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない  
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。
- ・コードホルダーに巻きつけたまま使用しない  
火災の原因になります。

使用中／使用后について

- 

・異常が生じた場合は、使用を中止する  
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（10 ページ参照）までご連絡ください。
- 

・お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない  
やけど・感電・けがの原因になります。
- 

・本製品を分解したり、改造をしない  
故障や発火の恐れがあります。
- 

・定格の分量を守る  
ケトルの注水量は最低0.2ℓ～最大1ℓです。必ず、最低水量以上の水を入れ、最大水量（＝MAXのライン）を超えないようにしてください。
- 
- 

お手入れについて

- 

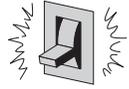
・本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う  
感電・やけど・けがの原因になります。
- 

# 安全上のご注意 (続き)

## ⚠ 注意

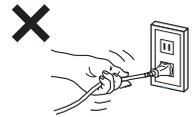
### 電源について

- ❗ **ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する**  
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、近くの電力会社にご相談ください。



### 電源プラグ／電源コードについて

- ❗ **使用中は、電源コードを本体に触れさせない**  
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。
- ⚡ **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く**  
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



### 設置場所について

- ⊘ **本体は不安定なところや熱に弱い場所に置かない**  
本体や置いた物が変形・変質したり火災の原因になります。
- 🔥 **屋外や水／湿気が多い場所（部屋）、浴室で使わない**  
ショートや感電の恐れがあります。
- ⊘ **電源コードは、必ずコード留めにハメ込んで使用する**  
コード留めにしっかりハメ込まないと、電源ベースが不安定になり、ケトル本体が倒れたり、熱湯がふきこぼれ、やけどの原因になります。



### 使用中／使用後について

- ❗ **使用する際は、必ずふたをする**  
「自動電源OFF機能」が働かなくなります。
- 🔥 **本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する**  
感電、火災を防ぐためです。



- ⊘ **直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどで使用しない**  
故障の原因になります。
- ⊘ **お湯を注ぐときは、ケトルを電源ベースから離す**  
やけど・けがの原因になります。
- ⊘ **ケトルに水以外のものを入れたり、他の用途で使用しない**  
本製品は家事専用の湯沸かしケトルです。他の用途で使用すると、故障の原因になります。
- ⊘ **使用中は、取っ手以外は触れない**  
ケトルは、沸騰中および沸騰後もしばらく熱いので、やけど・けがの原因になります。



## ご使用前に必ずお読みください



- ・ **本体接続部や電源ベースに水（お湯）をこぼさない**

ショートや感電の恐れがあります。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電の恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（10ページ参照）までご連絡ください。



- ・ **使用後は、必ずプラグをコンセントから抜く**



- ・ **長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**  
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐため。

### お手入れについて



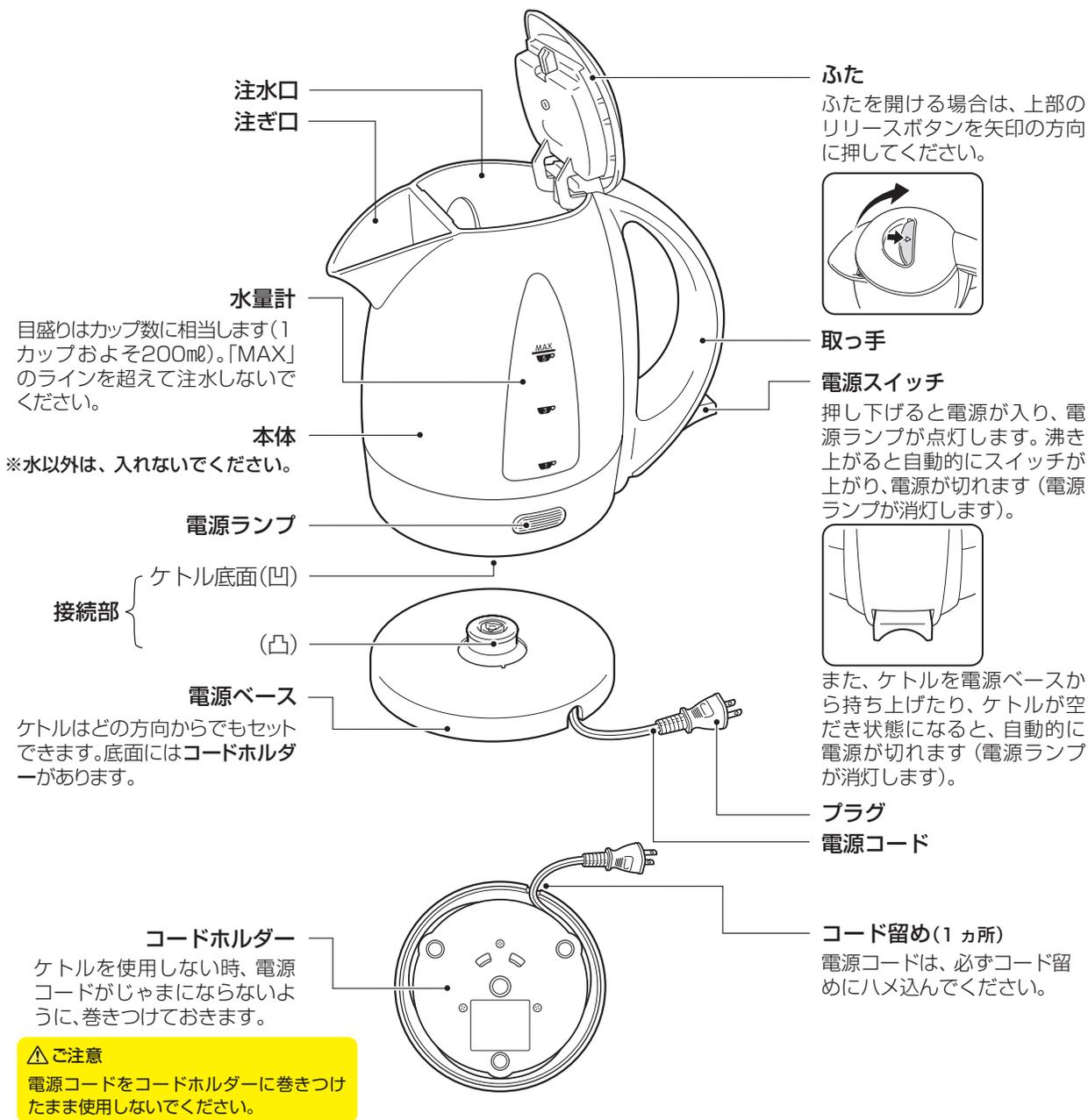
- ・ **絶対に、水に浸したり、水洗いはしない**

ケトル底部や電源ベース、電源コード／プラグは、水に浸けたり、水洗いをしないでください。



- ・ **洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない**

# 各部の名称とはたらき



## 仕様

製品名称／型式番号	デロンギ電気式コードレスケトル／JK707J
定格電圧／周波数	交流100V 50/60Hz
消費電力	1200W
容量	1ℓ (0.2～1ℓ)
外形寸法／質量(※)	幅140×奥行205×高さ200mm / 0.8kg
電源コードの長さ	1.5m

※外形寸法および重さの数値は、電源ベースを含めたものです。

各部	材質
ケトル 本体	ポリプロピレン
ケトル 底部	
電源ベース	
水量計	ステンレス
コンシールド・ソール	

# 使用手順

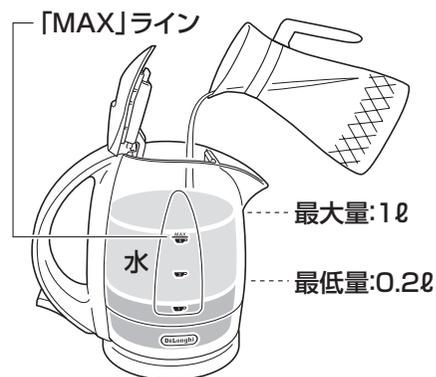
初めて使う際は、沸いたお湯からプラスチックの臭いがすることがあります。事前に「MAX」のラインまで水を入れて沸騰させてください。これを2~3回繰り返してからご使用ください。

## 1 ケトルに注水する

ケトルを電源ベースから外し、新鮮な水を必要な量(0.2ℓ~1ℓ)だけ入れます。注水後、ふたをしっかりと閉めてください。

### ⚠️ ご注意

- ・注水量がMAXのラインを超えると、沸騰したお湯が噴きこぼれますので、お止めください。
- ・本器は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

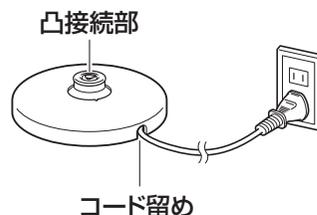


## 2 電源を接続する

プラグを壁面のコンセントに直に差し込みます。根元までしっかりと入れてください。

### ⚠️ ご注意

- ・コードはコードホルダーからすべて引き出して使用してください。
- ・電源コードは、必ずコード留めにハメ込んでください。

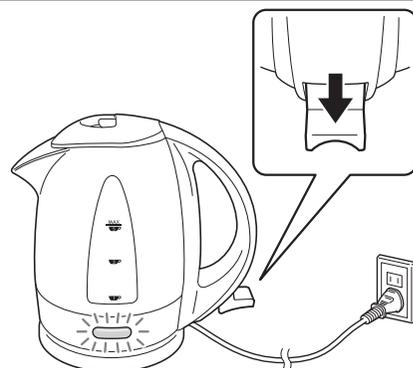


## 3 ケトルを電源ベースにのせ、電源を入れる

水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(=ケトルの底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。

ふたがしっかりと閉まっていることを確認後、電源スイッチを押し下げます。

電源が入ると、電源ランプが点灯します。

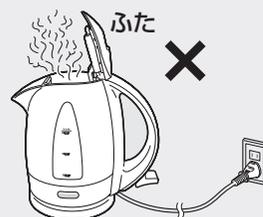


**警告：ご使用の際は、必ずふたを確実に閉めてください。**

ふたを閉めないで使用する(電源を入れる)と、サーモスタットが温度を感知できないために「自動電源OFF機能」が働かず、電源が入ったままの状態が続きます。

必ずふたを閉めてください。

また、使用中は、絶対に注ぎ口をふさがないでください。



## 4 お湯が沸き、電源が切れる

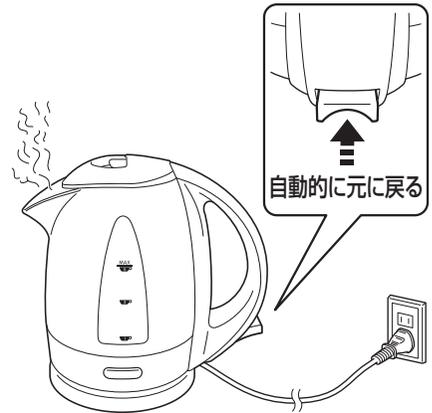
お湯が沸くと「自動電源OFF機能」の働きで、自動的に電源が切れます（→電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消える）。

### 【お湯が沸く前に、電源を切る場合】

- ・電源スイッチを指で押し上げる
- ・ケトルを電源ベースから持ち上げる→電源スイッチが、自動的に元に戻る

### 【連続して使用する場合】

約1分間の休み（=電源OFF状態）をとってください。

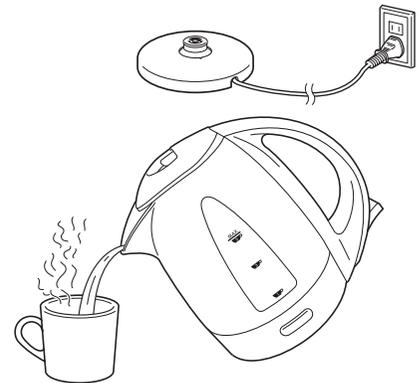


## 5 お湯を注ぐ

ケトルを電源ベースから外し、ふたがしっかりと閉まっていることを確認後、お湯を注ぎます。なお、ケトルの底面は熱くなりませんので、直にテーブルなどに置くことができます。

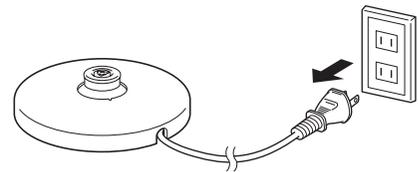
### ⚠️ ご注意

- ・お湯が沸いたときのケトル表面は、80℃以上になります。しばらくは熱いので、取っ手以外は触れないでください。ヤケドする危険があります。
- ・濡れたテーブルの上に置くことは、お止めください。



## \* 使用後は…

プラグをコンセントから抜き、電源コードをコードホルダーに巻きつけます。ケトルは空にして、お湯を残さないでください。  
※お手入れ（8ページ参照）は、各部が冷めてから行ってください。



### 自動電源OFF機能

お湯が沸いたときやケトルを電源ベースから持ち上げると、自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。

※連続して使用する場合は、1分ほど待ってから電源を入れてください。

※電源スイッチを無理に押し続けることはお止めください。

### 空だき防止機能

電源を入れ、ケトル内が空もしくは水が少ない状態になった場合は、空だき防止機能が働いて自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。

※この機能が働いた場合は、ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてください。

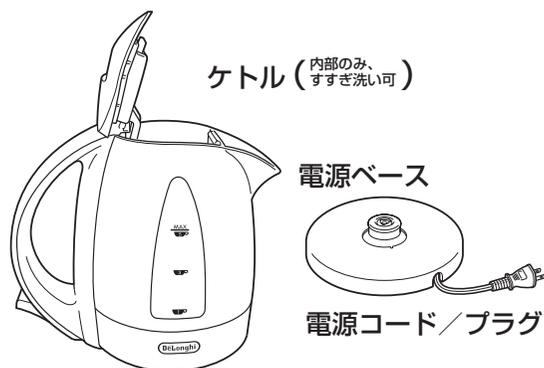
# お手入れのしかた

汚れ具合や使用頻度によりますが、定期的に応じた要領でお手入れをしてください。

## ⚠️ ご注意

- ・事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・使用后すぐのお手入れは止め、各部が冷えてから行ってください。
- ・クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金だまし等は、使用しないでください。

## 水洗いできません・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



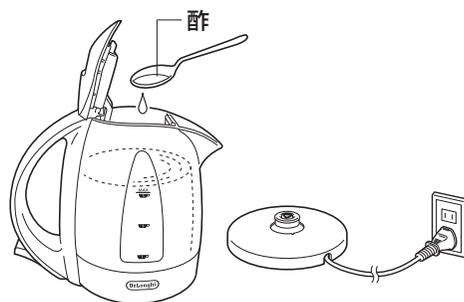
- ・外側の汚れは、柔らかい布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭き取ります。
- ・落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所食器用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、お湯を含ませ固く絞った布で、洗剤を残さず拭き取ってください。
- ・電源コード/プラグは、柔らかい布で空拭きだけしてください。

※ケトルの内部は、水洗いできます。  
ただし、外側や底部に水をこぼさないようにしてください。

## 石灰分の除去

長く使っていると、ケトルの内壁に石灰分が付着し、白い膜ができます。使用頻度や水質によりますが、付着が目立つ場合は、以下の要領で石灰分を除去してください。

- ①ケトルに0.8ℓの水と大さじ4～5杯の食酢を入れ、ふたをします。
- ②ケトルを電源ベースにセットし、電源スイッチを押し下げ（電源を入れ）ます。
- ③沸き上がったら（＝電源スイッチOFF）、お湯を排水し（ヤケド注意）、ケトルを空にします。
- ④1分程度の休み（電源OFF状態）をとった後、ケトルを水だけで満水にして、上記②③を行います。
- ⑤酢の臭いが消えるまで、上記④を繰り返してください。



この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。  
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリプロモビフェニル(PBB)、ポリプロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。









*Italian Living Innovation*

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>

**De'Longhi** **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321 (代)

1771005IDL/03.08



再生紙を使用しています。